

平成23年度 事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

目次

総括	1
実施事業の概要	1
1. 地域福祉活動の推進	3
(1) 住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現	3
① 地区社会福祉協議会と連携による地域福祉活動の推進	3
ア. 福祉協力員制度の促進	3
イ. ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進	5
ウ. 敬老会開催の支援	5
エ. 地区福祉まつり事業の促進	5
オ. 地区社協だよりの発行促進	5
カ. 男性高齢者調理講習会開催の促進	6
キ. ふれあい・いきいきサロン設置の検討	6
ク. 地区社会福祉協議会への支援	6
② 市社会福祉協議会の地域福祉活動の推進	7
ア. ファミリーケアサービス事業の促進	7
イ. 総合相談センター機能の強化	7
ウ. 福祉理美容出張費補助サービス事業の促進	8
エ. ふれあい訪問事業の推進	8
オ. 福祉車両貸出サービス事業の推進	8
カ. 車いす等貸出サービス事業の推進	8
キ. 福祉機器・介護用品展示室の開設	8
ク. 援護事業	9
ケ. 社会福祉資金貸付事業	9
コ. 移送サービス事業の推進	9
サ. 在宅介護者のつどいの実施	9
シ. 新たな地域福祉サービス開発の検討	9
(2) ボランティア活動・市民活動の推進	10
① ボランティアへの理解の促進	10
ア. ボランティア養成・ボランティア活動の推進	10
イ. ボランティア団体への活動支援の推進	11
ウ. 福祉共育講座の充実	12
エ. 善意銀行事業の促進	13
② 災害ボランティア活動等の実施	14
ア. 宇都宮市内における活動	14
(ア) 宇都宮市災害ボランティアセンターの開設	14
(イ) ボランティア活動状況	14
イ. 宇都宮市外における活動	14
(ア) 職員の派遣	14
(イ) ボランティアの派遣	15
ウ. 絆づくり防災講演会の開催	16

(3) 地域福祉を支える基盤の整備	17
① 関係機関・団体等との連携、協働の推進	17
ア. 自治会・民生委員児童委員協議会など関係機関との連携・協働の推進	17
イ. 福祉団体などとの連携・協働の推進	17
ウ. 福祉施設・事業所などとの連携・協働の推進	17
エ. 各種行事助成	17
オ. 各種団体に対する補助	17
カ. 各種事業に対する共催・後援	18
② 地域福祉活動への参画促進	20
ア. 広報・啓発活動の強化	20
イ. 財政基盤の強化	20
ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実	21
③ 組織体制の強化	21
ア. 会務の運営	21
イ. 苦情解決体制	23
2. 介護保険事業の推進	24
(1) 介護保険事業の推進	24
① 訪問介護事業の運営	24
② 通所介護事業の運営	24
③ 訪問入浴介護事業の運営	25
④ 居宅介護支援事業の運営	25
⑤ 障がい福祉サービスの運営	26
3. 指定管理施設等の管理・経営	27
(1) 指定管理施設の管理・経営	27
① 老人福祉センターの管理・経営（5施設）	27
② 地域活動支援センターの管理・経営（3施設）	30
③ 総合福祉センターの管理・経営（2施設）	32
④ 茂原健康交流センターの管理・経営（1施設）	33
(2) 市からの受託事業の実施	34
① 障がい者生活支援センター事業の実施	34
② 地域包括支援センター事業の実施	34
③ 日中一時支援事業の実施	35
④ 訪問介護員養成研修事業の実施	36
⑤ 身体障がい者福祉バス事業の実施	36
⑥ ゆうあいひろばの管理運営	36
⑦ 各種奉仕員養成講座の実施	37
⑧ 要約筆記者派遣事業の実施	37
(3) 県社協からの受託事業の実施	38
① 権利擁護センター「あすてらす」事業の実施	38
② 生活福祉資金等貸付事業の実施	38

総 括

近年の社会経済状況は依然として厳しく、長期にわたる経済不況が続いている中、東日本大震災の発生に伴い、その厳しさは一段と増しております。

そのような状況下ではありますが、本会では住民参加を主体とした地域福祉活動を推進する団体として、誰もが住み慣れた地域で自立した心豊かな生活が送れるよう、ともに支えあい助けあいながら安心して暮らし続けることができる地域社会の実現を目指し、様々な福祉事業や福祉活動、災害ボランティア事業等を実施しました。

実施事業の概要

1. 地域福祉活動の推進

全ての人にやさしい福祉のまちづくりを実現するために、社会福祉協議会・地区社会福祉協議会・福祉協力員が核となって地域福祉活動を積極的に展開し、地域福祉の総合的な組織化に取り組みました。

(1) 住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現

「誰もが、住み慣れた家庭や地域で、その人らしく、安心して自立した生活を送るための支えあい社会」の実現に向けた事業を進めました。

①地区社会福祉協議会と連携による地域福祉活動の推進

地区で活動する福祉協力員に対し研修会を開催する等の支援を行い、福祉協力員の活動の充実を図りました。また、地区社会福祉協議会で実施する地域福祉活動への助成を行うとともに、地区担当者（コミュニティワーカー）を配置し、各種研修会の開催及び地区社会福祉協議会の事業運営等の支援を行い、住民相互の支えあい活動を推進しました。

②市社会福祉協議会の地域福祉活動の推進

住み慣れた地域や家庭で自立した心豊かな生活が送れるよう、利用会員と協力会員で構成する有償のファミリーケアサービス事業、様々な福祉課題・生活課題について相談支援を行う総合相談センター事業や福祉車両・車いすの無料貸出し事業などを推進し、自立した生活の支援に取り組みました。

(2) ボランティア活動・市民活動の推進

ボランティア活動や市民活動を支援するために、ボランティア相談や登録並びに調整を行うとともに、市民のボランティア活動への関心を高め、積極的なボランティア活動が展開されるよう各種養成講座を実施しました。

また、東日本大震災の発生に伴い、宇都宮市内外における災害ボランティア活動の実施や防災講演会を開催しました。

(3) 地域福祉を支える基盤の整備

地域の福祉課題に柔軟に応えるよう委員会等の整備を図り、地域福祉の効率的推進に取り組むとともに、本会の役割や活動内容を積極的に広報啓発することにより、会員会費をはじめとする自主財源の確保等に努め、財務体質の強化を図りました。

2. 介護保険事業の推進

介護保険法に基づき、介護保険事業者としてサービスの質の向上や改善を行い、要介護者等の心身の状況にふさわしい介護サービスを提供するとともに、適切な事業運営に努めました。

3. 指定管理施設等の管理・経営

施設の設置目的や特性、業務内容、運営実態等を踏まえ、住民福祉の増進に努めるとともに、より効果的かつ効率的に施設の機能を発揮できる管理・経営に努めました。

また、宇都宮市及び栃木県社会福祉協議会からの受託事業についても、事業の目的及び趣旨に基づき適正に実施しました。

1. 地域福祉活動の推進

(1) 住み慣れた地域や家庭で安心して暮し続けることができる地域社会の実現

①地区社会福祉協議会と連携による地域福祉活動の推進

ア. 福祉協力員制度の促進

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会への支援及び活動費の助成を行った。

(助成総額 4,088,000円)

○地区別 福祉協力員数

地 区	協力員数	地 区	協力員数
中 央	41人	陽 南	52人
東	55人	緑が丘	68人
西	46人	陽 光	50人
築 瀬	9人	宮の原	39人
西 原	52人	横 川	112人
昭 和	56人	瑞穂野	36人
錦	34人	雀 宮	89人
城 東	34人	五代若松原	40人
今 泉	43人	戸 祭	65人
泉が丘	53人	御 幸	36人
峰	54人	御幸が原	45人
平 石	10人	細 谷	62人
石 井	70人	篠 井	10人
陽 東	41人	富 屋	17人
清 原	95人	国 本	57人
桜	57人	豊 郷	129人
宝 木	59人	上河内	39人
富士見	74人	河 内	177人
明 保	29人	合 計	2,259人 (前年比 +29人)
城 山	48人		
姿 川	176人		

○福祉協力員地域ブロック別研修会の開催

・東部ブロック研修会

開催日 平成24年1月11日（水）
参加者 147人
講師 佐野短期大学 教授 山田昇氏
内容 講演「考えてみよう。ふれあい・いきいきサロンの魅力とは！」

・北部・上河内・河内ブロック研修会

開催日 平成24年2月17日（金）
参加者 171人
講師 宇都宮市まちづくりセンター センター長 安藤正知氏
内容 講演「向こう三軒両隣の地域社会を目指して
～できることからみんなで地域づくり～」
パネルディスカッション
（地区社協・ボランティア団体・地域包括支援センター各代表）

・西部ブロック研修会

開催日 平成24年2月29日（水）
参加者 104人
講師 東北福祉大学 教授 田中治和氏
内容 講演「福祉サービスの利用者は誰でしょう？」

・中央ブロック研修会

開催日 平成24年3月8日（木）
参加者 75人
講師 宇都宮大学 教授 廣瀬隆人氏
内容 講演「東日本大震災の教訓から考える地域づくり」
グループディスカッション「リメンバー3.11」

・南部ブロック研修会

開催日 平成24年3月23日（金）
参加者 184人
講師 大門社会福祉士事務所 所長 大門亘氏
内容 講演「地域で見守る“その人らしさ”～成年後見制度について～」

イ. ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進

ひとり暮らしふれあい会食事業を実施した地区社会福祉協議会に対し、事業費の一部を助成した。

・ 39 地区社協（全地区）へ助成 (助成総額 8,212,400 円)

- ・ ふれあい会食事業に携わる地区の方々を対象に、食への安全・安心を図るため「調理ボランティア講習会」を開催し、保健所による食中毒・食品衛生指導及び地区社協の事例をもとに会食事業を実施するうえでの工夫等を学んだ。

開催日 平成23年6月14日（火）

参加者 105人 (前年比 -12人)

ウ. 敬老会開催の支援

宇都宮市、市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会の共催により開催した敬老会の開催費用の一部を助成した。

・ 39 地区社協（全地区）へ助成 (助成総額 4,329,280 円)

エ. 地区福祉まつり事業の促進

地区社会福祉協議会が地域の関係機関等と協働して開催した地区福祉まつりの開催費用の一部を助成した。

(助成総額 300,809 円)

- ・ 東地区
- ・ 西地区
- ・ 上河内地区
- ・ 陽南地区
- ・ 河内地区
- ・ 戸祭地区 (平成23年度新規)
- ・ 城山地区 (平成23年度新規)

オ. 地区社協だよりの発行促進

地区社会福祉協議会の活動状況の紹介や地域の福祉に関する情報を提供するために発行している地区社協だよりの発行費用の一部を助成した。

(助成総額 146,434 円)

- ・ 上河内地区 2,700部発行
- ・ 河内地区 11,000部発行
- ・ 姿川地区 11,000部発行
- ・ 横川地区 6,000部発行

カ. 男性高齢者調理講習会開催の促進

おおむね65歳以上の男性を対象に、自立した心豊かな生活がおくれるよう調理法を学ぶとともに、同世代の方々の仲間づくりや交流を図るために、地区社会福祉協議会が開催した調理講習会の開催費用の一部を助成した。

(助成総額 234,993円)

・東地区	6回開催	参加者	延	69人	
・西地区	2回開催	参加者	延	35人	
・豊郷地区	5回開催	参加者	延	85人	
・篠井地区	1回開催	参加者		18人	
・城山地区	2回開催	参加者	延	38人	
・昭和地区	3回開催	参加者	延	48人	
・国本地区	1回開催	参加者		18人	(平成23年度新規)
・宮の原地区	2回開催	参加者	延	33人	(平成23年度新規)
・河内地区	1回開催	参加者		13人	(平成23年度新規)
合 計			延	357人	(前年比 +25人)

キ. ふれあい・いきいきサロン設置の検討

ひとり暮らし高齢者などの居場所を確保し、地域ぐるみで見守り・支援を行う「ふれあい・いきいきサロン」の設置について、地域福祉事業運営委員会において検討を行った。

ク. 地区社会福祉協議会への支援

○地区社協会長研修会の開催

- ・期 日 平成23年11月7日(月)～8日(火)
- ・視 察 地 横浜市 港北区 太尾地区社会福祉協議会
- ・視察研修内容
 - ・「みんなの居場所」事業(サロン)について
 - ・各部会活動について

○地域ブロック別地区社協会長会議の開催

(協議事項)

「社協だより」へ「地区社協コーナー」の掲載について
「ブロック別福祉協力員研修会」について
各ブロック地区担当職員の業務内容について

- ・北部、上河内、河内ブロック 平成23年6月28日(火)
- ・中央、東部ブロック 平成23年7月 5日(火)
- ・西部ブロック 平成23年7月20日(水)
- ・南部ブロック 平成23年7月26日(火)

②市社会福祉協議会の地域福祉活動の推進

ア. ファミリーケアサービス事業の促進

日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者等の世帯（利用会員）に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供した。

（総事業費 5,219,229円）

・利用会員	96人	（前年比 +11人）
・協力会員	42人	（前年比 -1人）
・利用件数	3,252件	（前年比 -231件）
・利用時間	5,164時間	（前年比 -918時間）
・サービス内容	掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添い等	

イ. 総合相談センター機能の強化

地域住民の抱える生活・福祉問題等のさまざまな心配ごと、悩みごとの相談に応じられるよう「総合相談センター」を開設した。

（総事業費 3,908,597円）

・相談内容

種 別	件 数	種 別	件 数
生計問題	72件	財産問題	137件
年金問題	10件	交通事故問題	10件
職業・生業問題	29件	児童福祉・母子保健問題	0件
住宅問題	40件	教育・青少年問題	0件
家族問題	130件	心身障がい者福祉問題	5件
結婚問題	16件	一人親福祉問題	0件
離婚問題	27件	高齢者福祉問題	23件
健康・衛生問題	20件	苦情問題	93件
医療問題	23件	その他	144件
精神衛生問題	165件	合 計	962件
人権・法律問題	18件		（前年比 -97件）

※ 開設回数 延 353回（うち 特別相談日 47回、巡回相談日 61回）

・生活福祉相談 月～金曜日

・巡回相談 毎月各1回

第1木曜日：ことぶき会館、第2木曜日：ふれあい荘

第3木曜日：やすらぎ荘、第4木曜日：すこやか荘

第1火曜日：河内総合福祉センター

第2火曜日：上河内老人福祉センター

- ・特別相談 毎月各1回
第3火曜日：法律相談、第3水曜日：心身障がい者相談
第3木曜日：更生相談、第3金曜日：看護・介護相談

ウ. 福祉理美容出張費補助サービス事業の促進

理美容店に出向くことが困難な65歳以上の在宅の寝たきり高齢者に対して、散髪を行った際の出張費の補助を行った。

(総事業費 354,000円)

- ・申請者 108人
- ・利用件数 (補助券) 236枚 (前年比 +111枚)

エ. ふれあい訪問事業の推進

おおむね70歳以上の近隣に近親者のいないひとり暮らし高齢者の家庭に、乳酸飲料を配達、手渡しすることにより、安否の確認と孤独感の解消を図った。

(総事業費 4,441,626円)

- ・利用者 502人 (前年比 -49人)
- ・配達本数 延 70, 502本 (前年比 -3,262本)
- ・状況確認 43件 (配達時に不在のため詳細を確認)
- ・緊急対応 2件 (救急搬送要請)

オ. 福祉車両貸出サービス事業の推進

身体機能の低下や障がいなどにより公共交通機関の利用が困難な方に、通院や各種行事等への参加のために車いすのまま乗降できる福祉車両を無料で貸し出した。

- ・貸出件数 延 157件 (前年比 +41件)

カ. 車いす等貸出サービス事業の推進

一時的に車いすが必要となった方などに、市内10か所において原則3か月を限度に車いす等を貸し出した。

- ・貸出件数 延 347件 (車いす、松葉杖等) (前年比 -2件)

キ. 福祉機器・介護用品展示室の開設

寝たきり高齢者等の介護者に、介護を容易にするための福祉機器及び介護用品等の情報を提供するため、福祉機器・介護用品展示室を開設した。

- ・利用者数 延 124人 (前年比 -89人)

ク. 援護事業

所持金紛失等により、目的地まで行くことのできない行旅人に対して、旅費（500円限度）を貸付した。

・行旅人 229人 114,500円 (前年比 +5人)

ケ. 社会福祉資金貸付事業

一時的に生活費に困窮した低所得者世帯に対し、100,000円を限度に資金の貸付を行った。

・貸付件数 2件 (前年比 ±0件)
・償還件数 5件 (前年比 ±0件)
・累積貸付件数 45件 (前年比 -18件)

コ. 移送サービス事業の推進

身体障がい者及び高齢者等で公共交通機関の利用が困難な方の便宜を図るため、医療機関・公共施設等への移送サービスを実施することにより、自立生活の支援を図った。

(総事業費 994,381円)

・利用内容 (前年比 +4人)

登録者数	利用回数 (延)	稼働日数	利用時間 (延)	総走行距離
42人	249回	153日	599時間	6,896km

サ. 在宅介護者のつどいの実施

在宅で高齢者や障がい者の介護にあたっている方々に対し、介護技術や最新の介護機器・在宅福祉サービスの情報提供を行うとともに、介護者の交流及び介護疲れを癒し心身のリフレッシュを図るために実施した。

・第1回 平成23年6月22日(水)
参加者 28人 場所 日光方面
・第2回 平成23年10月17日(月)～18日(火)
参加者 26人 場所 日光・鬼怒川方面
(前年比 +2人)

シ. 新たな地域福祉サービス開発の検討

ひとり暮らし高齢者など日常的な支援(見守りや声かけ)が必要な方々の安心・安全な暮らしを促進するために、地域ぐるみで協力し合い緊急時の早期対応などに活用できる「安心・安全情報キット」の作成・配布について、地域福祉事業運営委員会において検討を行った。

(2) ボランティア活動・市民活動の推進

ボランティアセンターの運営

市民のボランティアに関する理解を深め、関心を高めるとともに、近隣の住民同士が助け合うことを基本としたボランティア活動の推進を図るため、ボランティアセンターの運営を行った。

(総事業費 10,804,712 円)

①ボランティアへの理解の促進

ア. ボランティア養成・ボランティア活動の推進

○ボランティアコーディネーター相談事業

ボランティアの発掘及び育成支援を目的に、ボランティア相談並びにマッチングに努めた。

・各種相談・問合せ	9,142件	(前年比 -160件)
・ボランティア活動調整件数	900件	(前年比 +558件)
・ボランティア登録数(団体)	176団体	8,434人(前年比 +6団体 +123人)
(個人)	128人	(前年比 +18人)

○ボランティア体験プログラムの実施

ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に、宇都宮市まちづくりセンター(旧:市民活動サポートセンター)と共催でボランティア体験プログラムを実施した。

(エコキャップ集計・運搬)

・期 日	平成23年4月16日(土)、5月21日(土)、6月18日(土) 7月16日(土)、8月20日(土)、9月17日(土) 10月15日(土)、11月12日(土)、12月17日(土) 平成24年1月21日(土)、2月18日(土)、3月17日(土) 全12回	(前年比 ±0回)
・内 容	エコキャップ運搬活動を通し、ボランティア同士の交流を図った。	
・参加者	延 38人	(前年比 -32人)
・個 数	13,680,000個	(前年比 +466,400個)
・キロ数	34,200kg	(前年比 +1,166kg)
・ワクチン数	17,100人分	(前年比 +583人分)

○各種ボランティア養成講座の開催

講座名	内 容	開催日	開催回数	受講人数(延)	前年比
(ボランティア入門講座) 月1ぼらんていあ Saturday	ボランティア活動への興味・きっかけづくりのための入門講座	平成23年4月～平成24年3月までの土曜日	全8回	82人	+8名
(学生ボランティアの養成) サマーボランティアスクール	高校生・大学生等を対象にしたボランティアスクール	平成23年8月3日～5日	全3回	50人	-17人
(技能ボランティアの養成) 災害福祉ボランティア養成講座	災害時におけるボランティア養成講座	平成23年6月11日～7月9日	全5回	144人	+63人
(技能ボランティアの養成) 傾聴ボランティア養成講座	高齢者に対するの傾聴ボランティア養成講座	平成23年9月6日～9月27日	全4回	76人	+10人
(技能ボランティアの養成) 災害福祉ボランティアフォローアップ講座	災害ボランティア登録者を対象に行うフォローアップ講座	平成24年3月24日(土) 「絆づくり防災講演会」		23人	

イ. ボランティア団体への活動支援の推進

○宇都宮ボランティア協会への助成

宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。

○中間支援組織との連携強化

宇都宮市まちづくりセンター(旧:市民活動サポートセンター)等の中間支援組織との情報共有及び連携を強化した。

○ボランティア機材の貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、市内3か所においてボランティア活動に必要な機材を貸し出すことで、活動を支援した。

・貸出件数 延 188件 (前年比 -23件)

(液晶プロジェクター、テレビデオ、スクリーン等)

○ボランティアルームの貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出しを行い、活動を支援した。

- ・貸出件数 延 190団体 1,289人 (前年比 -37団体、-174名)

○ボランティアロッカーの貸出

登録しているボランティア団体を対象に、ロッカーの貸出しを行い、活動を支援した。

- ・貸出団体数 36団体

○ひとり暮らし高齢者友愛訪問の実施

- ・訪問者数 50人 (前年比 ±0人)
- ・活動内容 話し相手、清掃など

○対面朗読サービスの実施（ボランティア活動実践事業）

視覚障がいのある方等に対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面にて読み上げる朗読サービスを、音訳ボランティアの協力により実施した。

- ・実施回数 42回 (前年比 ±0回)
(毎月第2・4水曜日及び土曜日) ほか利用者の希望により別途調整日含む)
- ・利用者数 延 11人 (前年比 -11人)
- ・協力ボランティア数 延 79人 (前年比 +1人)

ウ. 福祉共育講座の充実

○出前福祉共育講座の実施

- ・実施回数 延 114回 (前年比 -50回)
(手話体験38回、アイマスク体験24回、点字体験15回、盲導犬育成講話6回、車いす体験24回、車いすバスケットボール体験2回、ボランティア講話3回、エコキャップ講話2回)
- ・受講者 延 3,919人 (前年比 -1,198人)

○福祉共育講座サポーター養成講座（H23年度新規事業）

出前福祉共育講座を支援するサポーターの養成講座を実施した。

- ・開催日 平成24年 2月 9日(木)、2月16日(木)
2月23日(木)、3月 2日(金) 全4回
- ・受講者 延 82人

○出前福祉共育講座連絡会（H23 年度新規事業）

出前福祉共育講座に協力いただいている講師等の交流会を開催し、講座プログラムの開発を検討した。

- ・開催日 平成23年7月28日（木）
- ・参加者 5人（視覚障がい者講師）
- ・内容 「視覚障がいの理解」講座プログラムの検討

エ. 善意銀行事業の促進

○金銭・物品の預託・払い出し

項目	金額	備考	前年比
前年度繰越金	3,872,987 円		+58,964 円
預託金受入	160,000 円	2 件	+69,241 円
使用済み切手換金	104,688 円	4 件	+33,931 円
プルタブ換金	46,861 円	3 件	-30,587 円
未使用・書き損じハガキ換金	51,857 円	1 件	+51,857 円
合計	4,236,393 円	10 件	+183,406 円

預託金払出	10,000 円	預託者の指定 (1 件)	-10,000 円 (-1 件)
	120,000 円	火災見舞金 (12 件)	-40,000 円 (-4 件)
払出合計	130,000 円		-50,000 円

次年度繰越金	4,106,393 円		+233,406
--------	-------------	--	----------

○預託・収集物品

- ・預託品 48 件（電動ベット、車いす、タオル、紙おむつ等）（前年比 -8 件）
- ・収集物品 1,205 件（使用済み切手・テレホンカード、プルタブ、エコキャップ等）
（前年比 -125 件）
- ・払い出し 36 件（電動ベット、車いす、タオル等）（前年比 -24 件）

②災害ボランティア活動等の実施

東日本大震災の被災地及び被災者への支援を行うため、市内外において災害ボランティア活動を行った。活動資金については、以下の助成を活用した。

- ・栃木県社会福祉協議会『栃木県ボランティア活動振興センター預託金』
- ・栃木県共同募金会『災害支援制度』
- ・朝日新聞厚生文化事業団『市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンター緊急助成』
(総事業費 3,743,720 円) ※職員の派遣を除く

ア. 宇都宮市内における活動

(ア)宇都宮市災害ボランティアセンターの開設

宇都宮市からの要請に基づき『宇都宮市災害ボランティアセンター』を開設し、宇都宮市内の被災者からのボランティア派遣依頼に対して、ボランティアの受入れを行い被災者の元にボランティアを派遣し、機能的かつ効率的な支援活動を行った。

- ・開設日 平成23年3月16日(水)～平成24年3月31日(土)
- ・開設場所 ・宇都宮市河内総合福祉センター内 (23.3.16～23.3.23)
・宇都宮市総合福祉センター内 (23.3.24～24.3.31)

(イ)ボランティア活動状況

受付(登録)人数	842名
派遣依頼件数	119件(うち、市内避難所等での活動95件)
活動人数	延べ417名(うち、避難所等での活動延べ331名)
派遣対象	一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯など、支援を必要とする世帯
活動内容	崩れた屋根瓦やブロック塀などの瓦礫の集積、室内の整理など

イ. 宇都宮市外における活動

(ア)職員の派遣

「関東ブロック及び栃木県・市町村社会福祉協議会における災害時支援に関する協定」に基づき、職員を市外の被災地災害ボランティアセンターへ派遣した。

第1回 (2人)	派遣期日	平成23年3月30日(水)～4月3日(日)
	派遣場所	福島県須賀川市災害ボランティアセンター
	活動内容	災害ボランティアセンターの運営支援

第2回 (1人)	派遣期日	平成23年6月25日(土)～6月30日(木)
	派遣場所	福島県南相馬市災害ボランティアセンター
	活動内容	災害ボランティアセンターの運営支援
第3回 (1人)	派遣期日	平成23年9月9日(金)～9月14日(水)
	派遣場所	福島県富岡町生活支援ボランティアセンター 「おだがいさまセンター」
	活動内容	生活支援ボランティアセンターの運営支援 (仮設住宅訪問、広報紙の作成・配布)

(イ) ボランティアの派遣

市外の被災地における復旧・復興支援活動を行うことを目的に、バスの借上げによるボランティアの派遣を行った。

- ・実施回数 6回
- ・参加人数 延194人

1	実施期日	平成23年4月30日(土)
	活動場所	宮城県石巻市ひまわり保育園
	参加人数	48人
	活動内容	津波によって流れ込んだ泥のかき出しや備品の運搬・洗浄など
2	実施期日	平成23年6月10日(金)
	活動場所	宮城県石巻市相川地区
	参加人数	29人
	活動内容	河川に流れ込んだ瓦礫の撤去
3	実施期日	平成23年7月8日(金)
	活動場所	宮城県七ヶ浜町
	参加人数	19人
	活動内容	個人宅の泥出し、引っ越しの支援、向日葵の植え

4	実施期日	平成23年7月22日(金)
	活動場所	宮城県七ヶ浜町
	参加人数	20人
	活動内容	側溝の泥出し
5	実施期日	平成23年7月30日(土)
	活動場所	宮城県七ヶ浜町
	参加人数	50人
	活動内容	個人宅の泥出し、瓦礫の集積
6	実施期日	平成23年12月18日(日)
	活動場所	宮城県七ヶ浜町
	参加人数	28人
	活動内容	仮設住宅の支援(手打ちそばの炊き出し、リラックス体操、クラリネット演奏会、綿あめ無料配布)

ウ. 絆づくり防災講演会の開催

東日本大震災を契機として、「助けあい」「支えあい」を基本とした福祉のまちづくりと防災意識の高揚を図ることを目的に開催した。

- ・開催日 平成24年3月24日(土)
- ・内容
 - ・第1部 活動報告会
『東日本大震災における宇都宮市社会福祉協議会の取り組み』
 - ・第2部 講演会
演題『釜石市の防災教育から考える“地域福祉”
～大津波から命を守った児童・生徒の主体的行動に学ぶ～』
講師 片田 敏孝 氏
〔 群馬大学広域首都圏防災研究センター長
群馬大学大学院工学研究科教授 〕
 - 〔その他〕 東日本大震災パネル展示、防災グッズの展示
- ・参加人数 381人

(3) 地域福祉を支える基盤の整備

①関係機関・団体等との連携・協働の推進

ア. 自治会・民生委員児童委員協議会など関係機関との連携・協働の推進

社会福祉協議会が取り組む福祉協力員活動やひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業などにおいて、自治会、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センターなどの関係機関との連携・協働を進めた。

イ. 福祉団体などとの連携・協働の推進

ボランティアセンターが取り組む「出前福祉講座」「ボランティア養成講座」や、地域で取り組む各種イベントにおいて、障害者福祉会連合会や老人クラブ連合会などの福祉団体と連携・協働を進めた。

ウ. 福祉施設・事業所などとの連携・協働の推進

各種イベントにおいて、高齢者・障がい者・児童の福祉施設・事業所との連携・協働を進めた。

エ. 各種行事助成

○第5回宇都宮市民福祉の祭典（宇都宮市民福祉の祭典実行委員会）

- ・助成額 250,000円
- ・主催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会（宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮ボランティア協会・宇都宮市等 計10団体）
- ・開催日 平成23年11月23日（水）勤労感謝の日
- ・会場 総合福祉センター・中央生涯学習センター・まちかど広場
オリオンスクエア・宇都宮市役所14階大会議室
- ・参加協力団体 92団体（前年比 ±0 団体）
- ・一般来場者 約10,000人（前年比 ±0 人）
- ・内容 表彰のほか、バザー、模擬店、障がい者の作品展示コーナー、
福祉書道展・絵画展、ボランティア相談コーナー、アトラク
ション、東日本大震災パネル展示、介護相談、スタンプラリー、
車いすダンス、チャリティマッサージ・メイク、いきいきふ
れあいサロンなど

※ バザー、模擬店などで得た収益金及び各参加団体等からの協力金
195,147円を「ぎんなん基金」にご寄附いただいた。

オ. 各種団体に対する補助

- ・宇都宮市遺族会連合会 674,000円
- ・宇都宮介護者の会 50,000円

カ. 各種事業に対する共催・後援

事業内容	団体名	区分
宇都宮市敬老会	宇都宮市・地区社会福祉協議会	共催
第5回宇都宮市民福祉の祭典	宇都宮市・宇都宮ボランティア協会他	〃
第22回重症心身障害療育学会学術集会	社団法人日本重症児福祉協会	後援
第98～103回 チャリティチギアートオークション	栃木美術倶楽部有限会社匠堂宇都宮	〃
子どもと向き合うメンタルサポート講座 第1回 ～苦戦する子どもに寄り添うために～	NPO 法人こころとまなびどっとこむ	〃
「エクレール お菓子放浪記」映画の上映	宇都宮ボランティア協会	〃
第49回全国知的障害福祉関係職員研究大会	栃木県障害施設事業協会	〃
震災ボランティアフォーラム ～栃木の力を東北へ～	宇都宮大学生涯学習教育研究センター	〃
第30回栃木県障害者卓球選手権大会	栃木県障害者卓球連盟	〃
平成23年度 地域福祉公開講座 「介護職員スキルアップ講座」	学校法人 宇都宮短期大学	〃
東日本大震災復興支援チャリティイベント ものまねそっくり歌謡ショー	ブライトフューチャープロモーション	〃
ノーマライゼーションフェスティバル2011 「であい・ふれあい・ささえあい」	社会福祉法人 宇都宮市障害者福祉会連合会	〃
11周年記念「さぼせんまつり2011 今こそ絆がんばっぺまつり」	宇都宮市民活動サポートセンター	〃
第3回栃木県ハーモニカ交流コンサート	栃木県ハーモニカ協会	〃
第28回全国手話通訳問題研究討論集会	第28回全国手話通訳問題研究討論集会委員会	〃
第14回星の家まつり	認定特定非営利活動法人 青少年の自立を考える会 第14回星の家まつり実行委員会	〃
防災講演会	自立生活センターとちぎ	〃
子どもと向き合うメンタルサポート講座 第2回 ～母親へのアプローチから解決できる不登校～	NPO 法人こころとまなびどっとこむ	〃

事業内容	団体名	区分
第18回岡本台病院ふれあいまつり	栃木県立岡本台病院 第18回岡本台病院ふれあいまつり企画 運営委員会	後援
NEC ワーキングマザーサロン宇都宮	ワーキングマザーサロン宇都宮	//
第12回スミセイさわやか介護セミナー	株式会社 下野新聞社	//
宇都宮介護者の会20周年記念講演	宇都宮介護者の会	//
開業20周年記念 サイ・イェングアン スペシャルチャリティコンサート	株式会社 東武ホテルマネジメント 宇都宮東武ホテルグランデ	//
多様な主体連携による地域づくりシボジム 新たな「絆」による 地域づくり・大学・地域・行政・NPOの連携	宇都宮市まちづくりセンター (NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房)	//
第15回 青少年の自立を支える会コンサート	認定特定非営利活動法人青少年の自 立を支える会第15回青少年の自立を支 える会コンサート実行委員会	//
東日本大震災ワークショップキャンペーン 『Remember3.11 in とちぎ』	宇都宮大学・宇都宮市教育委員会	//
北斗会 宇都宮シルバーホーム「地域福祉講座」	医療法人 北斗会	//
2012年 第1回栃木県乗馬大会	特定非営利活動法人 障害者のための馬事普及協会	//
第7回とちぎYMCAチャリティーラン	財団法人とちぎYMCA とちぎYMCAチャリティーラン運営 委員会	//
講演会「医療的ケアの必要な方が地域で生活 するために」	自立生活センターとちぎ	//
うつ病友の会設立10周年記念フォーラム	おたすけclubぴあかん	//
第1回『成年後見制度について』 講習会・個別相談会	一般財団法人 地域サポーターダנקの会	//

②地域福祉活動への参画促進

ア. 広報・啓発活動の強化

○広報紙の発行

定期的に福祉情報等の提供を行い、市民に社会福祉協議会の活動内容の理解を深めてもらうために、広報紙「うつのみや社協だより」を発行した。

- ・第140号 平成23年 4月20日発行 23,000部
- ・第141号 平成23年 7月 1日発行 25,000部
- ・第142号 平成23年10月 1日発行 21,000部
- ・第143号 平成24年 2月 1日発行 21,000部

イ. 財政基盤の強化

○社協会員の拡大

社協会員の拡大を図り、地域福祉事業を推進するための自主財源（会員会費）の確保に努めた。

地 区	合 計		地 区	合 計			
	会 員 数	会 費(円)		会 員 数	会 費(円)		
中央ブロック	中 央	1,559	630,610	南部ブロック	陽 南	2,829	848,800
	東	1,846	571,300		緑が丘	2,609	808,310
	西	1,928	595,400		陽 光	1,161	353,850
	築 瀬	1,881	564,300		宮の原	1,616	485,000
	西 原	1,576	494,850		横 川	5,105	1,551,431
	昭 和	1,771	531,480		瑞穂野	1,758	527,500
	錦	1,460	440,200		雀 宮	9,389	2,162,400
東部ブロック	城 東	1,625	487,620	五代若松原	1,643	493,000	
	今 泉	1,521	456,300	北部ブロック	戸 祭	2,817	863,250
	泉が丘	2,026	608,000		御 幸	1,539	461,900
	峰	2,152	645,710		御幸が原	2,287	679,500
	平 石	866	269,300		細 谷	3,684	1,125,200
	石 井	2,867	860,200		篠 井	628	202,400
	陽 東	1,778	567,146		富 屋	926	277,800
	清 原	5,881	2,258,700		国 本	3,340	1,014,600
桜	1,336	610,400	豊 郷		8,539	2,548,700	
西部ブロック	富士見	3,812	1,163,100	上河内	2,193	707,900	
	明 保	3,289	1,000,700	河 内	5,317	2,288,401	
	宝 木	1,322	421,500	事務局	484	3,442,000	
	城 山	3,541	1,063,700	合 計	109,834	37,462,438	
	姿 川	7,933	2,379,980				

※過去5年間における会費の状況は、次のとおりである。

区分		年度				
		平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
合 計	会員数	109,834	114,003	110,264	111,566	113,016
	会費(円)	37,462,438	37,816,661	37,689,408	38,117,836	38,484,355
会費前年度比 (%)		-0.9	+0.3	-1.1	-1.0	+10.3

○基金の造成及び適切な運用

ぎんなん基金寄附金を受け入れて、基金の造成に努めた。

- ・寄附状況 166件（企業、団体、個人等） 14,805,085円
（前年比 +5件、+11,566,697円）

ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

老人福祉センター（5施設）、地域活動支援センター（3施設）、総合福祉センター（2施設）、茂原健康交流センター（1施設）を地域の福祉拠点として、福祉情報の提供及び地域福祉事業等の推進を図った。

- ・総合相談センターの巡回相談の開設
- ・各種地域福祉講座・講習会等の福祉情報の提供
- ・車いす等の福祉機器の貸出

③組織体制の強化

ア. 会務の運営

【理事会の開催】

○平成23年5月20日（金）

（議 事）

- ・定款施行細則の制定について
- ・経理規程の一部改正について
- ・地域福祉事業運営委員会規程の制定について
- ・ボランティアセンター運営委員会規程の廃止について
- ・評議員の委嘱について
- ・平成23年度 宇都宮市社会福祉協議会 収支補正予算について
- ・平成22年度 宇都宮市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成22年度 宇都宮市社会福祉協議会 収支決算について

○平成23年11月17日（木）

（議 事）

- ・副会長の選任について
- ・評議員の委嘱について
- ・平成23年度 宇都宮市社会福祉協議会 第2次収支補正予算について

○平成24年3月13日（火）

（議 事）

- ・定款の一部改正について
- ・平成23年度 宇都宮市社会福祉協議会 第3次収支補正予算について
- ・平成24年度 宇都宮市社会福祉協議会 事業計画について
- ・平成24年度 宇都宮市社会福祉協議会 収支予算について

【監事会の開催】

○平成23年5月13日（金）

（監 査）

- ・平成22年度 事業執行及び会計処理について

【評議員会の開催】

○平成23年5月31日（火）

（議 事）

- ・定款施行細則の制定について
- ・経理規程の一部改正について
- ・地域福祉事業運営委員会規程の制定について
- ・ボランティアセンター運営委員会規程の廃止について
- ・理事の選任について
- ・平成23年度 宇都宮市社会福祉協議会 収支補正予算について
- ・平成22年度 宇都宮市社会福祉協議会 事業報告について
- ・平成22年度 宇都宮市社会福祉協議会 収支決算について

○平成23年12月1日（木）

（議 事）

- ・平成23年度 宇都宮市社会福祉協議会 第2次収支補正予算について

○平成24年3月29日（木）

（議 事）

- ・定款の一部改正について
- ・平成23年度 宇都宮市社会福祉協議会 第3次収支補正予算について
- ・平成24年度 宇都宮市社会福祉協議会 事業計画について
- ・平成24年度 宇都宮市社会福祉協議会 収支予算について

【事業経営委員会の開催】

○平成24年3月1日（木）

（協議事項）

- ・指定管理施設管理経営状況について
- ・指定管理施設の課題と今後の取り組みについて
- ・介護保険事業等の経営状況について
- ・介護保険事業等の課題と今後の取り組みについて

【ぎんなん基金運営委員会の開催】

○平成24年3月1日（木）

（報告事項）

- ・平成23年度ぎんなん基金活用状況、寄附及び積立金の運用状況について

（協議事項）

- ・平成24年度ぎんなん基金活用計画（案）について
- ・ぎんなん基金の課題について
- ・ぎんなん基金の今後の取り組みについて

【地域福祉事業運営委員会の開催】

○平成24年3月5日（月）

（報告事項）

- ・平成23年度地域福祉事業の推進状況について
- ・平成23年度ボランティアセンター事業の推進状況について

（協議事項）

- ・平成24年度地域福祉事業計画（案）について
- ・平成24年度ボランティアセンター事業計画（案）について

【歳末たすけあい事業見直し検討委員会の開催】

○平成23年11月17日（木）

（報告事項）

- ・平成22年度歳末たすけあい運動募金実績について
- ・平成22年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項及び配分実績について

（協議事項）

- ・平成23年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項（案）について

イ. 苦情解決体制

福祉サービス等についての苦情に対し、各部署・施設等に苦情受付窓口を設けるとともに、第三者委員を設置し、社会性や客観性の確保を図りながら、円滑で円満に問題を解決するための体制を整え適切に対応した。

【第三者委員会の開催】

○平成23年6月8日（水）

（報告事項）

- ・宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決システムの概要について
- ・平成22年度苦情の状況について

2. 介護保険事業の推進

(1) 介護保険事業の推進

①訪問介護事業の運営

(総事業費 38,516,405 円)

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数) (単位:人)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	1,416	1,665	1,470	554	1,951	7,046

(前年比 +265 人)

・サービス種別利用状況内訳 (延回数) (単位:回)

区分	生活援助	身体・生活	身体介護	合計
計	3,307	1,536	2,203	7,046

(前年比 +265 回)

○介護予防訪問介護事業

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数) (単位:人)

区分	要支援1	要支援2	合計
計	119	184	303

(前年比 +40 人)

・サービス種別利用状況内訳 (延回数) (単位:回)

区分	予防Ⅰ	予防Ⅱ	予防Ⅲ	合計
計	109	178	16	303

・予防Ⅰ：週1回程度 予防Ⅱ：週2回程度 予防Ⅲ：週3回程度

②通所介護事業の運営 【河内事業所で実施】

(総事業費 27,376,176 円)

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数) (単位:人)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	978	529	494	15	79	2,095

(前年比 +197 人)

○介護予防通所介護事業【河内事業所で実施】

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	合 計
計	267	711	978

（前年比 +136 人）

③訪問入浴介護事業の運営【上河内事業所で実施】（訪問介護事業と一体で実施）

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問入浴介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
計	11	33	121	29	142	336

（前年比 +81 人）

○介護予防訪問入浴介護事業【上河内事業所で実施】

要支援者の要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防訪問入浴介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	合 計
計	4	0	4

（前年比 -71 人）

④居宅介護支援事業の運営（総事業費 13,108,540 円）

要介護者が、居宅において自立した生活を営むために必要な居宅サービス等を適切に受けられるよう、居宅サービス計画や相談援助を実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）（単位：人）

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
計	54	116	296	336	272	106	97	1,277

（前年比 -451 人）

⑤障がい者福祉サービスの運営 (総事業費 15,471,847 円)

居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、訪問介護サービス及び通所介護サービスを実施した。

・居宅介護（ホームヘルプサービス）利用者延人数 (単位:人)

区 分	人 数
計	3,455

(前年比 +213 人)

・居宅介護（ホームヘルプサービス）利用内訳（延回数） (単位:回)

区 分	家事援助	身体介護	通院介助	合 計
計	2,227	1,189	39	3,455

(前年比 +213 回)

・生活介護（デイサービス）利用者延人数 (単位:人)

区 分	人 数
計	545

(前年比 -95 人)

3. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

①老人福祉センターの管理・経営（5施設）

ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘

（指定管理期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

上河内老人福祉センター（指定管理期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（総運営費 197,397,000 円）

ア. ことぶき会館

○利用状況

- ・開館日数 288日 (前年比 +8日)
- ・利用者数 延 84,510人 1日平均 293人 (前年比 +2,675人)
(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		6,913人
教養講座		12講座 277回 9,186人
健康相談等	血圧測定	1,146人
	健康相談	1,170人
	応急処置	16人
	健康器具利用	19,492人

※1 平成 23 年度は東日本大震災の影響により、4月1日より4月8日まで臨時休館

○その他

- ・ことぶき文化祭の開催 平成23年10月22日（土）～23日（日）
- ・ことぶき健康みんなの大学（健康講話・健康チェック・つぼ体操教室等）の開催 72回
- ・ケータイ安全講座（災害伝言板サービスの使い方と振り込め詐欺の対処法）の開催（docomo協力）
- ・ボランティア団体等の受入（近隣小学校から花の寄附・民謡発表会・映画鑑賞会等）
- ・栃木SC健康教室の開催 2回

イ. ふれあい荘

○利用状況

- ・開館日数 288日 (前年比 +10日)
- ・利用者数 延 46,379人 1日平均161人 (前年比 +873人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		889人
教養講座		12講座 216回 2,094人
健康相談等	血圧測定	3,288人
	健康相談	138人
	応急処置	1人
	健康器具利用	12,419人

※1 平成23年度は東日本大震災の影響により、4月1日より4月8日まで臨時休館

○その他

- ・ふれあい祭の開催 平成23年10月19日(水)～20日(木)
- ・ふれあい音楽祭の開催 2回
- ・健康づくり講座の開催 2回
- ・囲碁将棋自主講座交流大会の開催 1回
- ・ボランティア団体等の受入(映画鑑賞会)
- ・栃木SC健康教室の開催 2回

ウ. やすらぎ荘

○利用状況

- ・開館日数 229日 (前年比 -49日)
- ・利用者数 延 31,475人 1日平均138人 (前年比 -11,572人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		4,519人
教養講座		17講座 315回 5,062人
健康相談等	血圧測定	1,893人
	健康相談	887人
	応急処置	39人
	健康器具利用	16,158人

※1 平成23年度は東日本大震災の影響により、4月1日より6月15日まで臨時休館

※2 6月16日から自主講座実施。7月1日から教養講座開講。

○その他

- ・やすらぎ祭の開催 平成23年10月23日(日)～24日(月)
- ・健康講話の開催 2回
- ・敬老の日 地域中学校演奏会及び交流会の開催
- ・地域小学校との交流会の開催
- ・交通安全講話の開催 (管轄警察署協力)
- ・ボランティア団体等の受入 (鍼灸相談・民話発表・映画鑑賞会等)
- ・栃木SC健康教室の開催 2回

エ. すこやか荘

○利用状況

- ・開館日数 274日 (前年比 +4日)
- ・利用者数 延 54,315人 一日平均198人 (前年比 -7,355人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		6,905人
教養講座		16講座 320回 8,460人
健康 相談 等	血圧測定	1,647人
	健康相談	375人
	応急処置	37人
	健康器具利用	17,422人

※1 平成23年度は東日本大震災の影響により、4月1日より4月8日まで臨時休館

東日本大震災の被害、受水槽工事のため11月3日より13日まで臨時休館

空調工事のため1月13日より3月8日まで部分休館

空調工事のため2月26日より3月4日まで臨時休館

○その他

- ・すこやか荘文化祭の開催 平成23年11月18日(金)～19日(土)
- ・健康講話の開催 1回
- ・健康教室の開催 6回
- ・交通安全講話の開催 (管轄警察署協力)
- ・各種出前講座の開催
- ・地域児童との世代間交流事業の開催
- ・ボランティア団体等の受入 (マジックショー・軽音楽演奏会・民話発表・映画鑑賞会等)
- ・栃木SC健康教室の開催 2回

オ. 上河内老人福祉センター

○利用状況

- ・開館日数 238日 (前年比 +8日)
- ・利用者数 延 3,809人 一日平均16人 (前年比 -263人)

(延人数)

区 分		内 訳
教養講座		3講座 63回 393人
健康相談等	血圧測定	516人
	健康相談	278人
	応急処置	0人
	健康器具利用	848人

※1 平成23年度は東日本大震災の影響により、4月1日より4月8日まで臨時休館

○その他

- ・上河内老人福祉センター祭の開催 平成23年10月22日(土)
- ・健康体操の開催 12回
- ・栃木SC健康教室の開催 2回
- ・園芸教室の開催 1回
- ・ちぎり絵教室の開催 3回
- ・太極拳教室の開催 1回

②地域活動支援センターの管理・経営(3施設)

雀の宮作業所・若草作業所 (指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日)
(総運営費 41,941,000円)

ア. 雀の宮作業所

○利用状況

- ・開所日数 244日 (前年比 +1日)
- ・利用登録者数 17人 (前年比 -2人)
- ・利用者数 延 3,189人 (前年比 +162人)

イ. 若草作業所

○利用状況

- ・開所日数 244日 (前年比 +1日)
- ・利用登録者数 18人 (前年比 ±0人)
- ・利用者数 延 2,728人 (前年比 -443人)

○生産活動の機会の提供

- ・電機部品の組立・菓子箱の組立・文書の封筒詰め及びシール貼り等

○社会参加・自立促進

- ・野外レクリエーション・社会見学・クリスマス会等の開催
- ・宇都宮市民福祉の祭典・宇都宮ふれあい文化祭・栃木県障がい者スポーツ大会等への参加

ウ. 障がい者福祉センター（指定管理期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（総運営費 37,062,811 円）

(ア)講座事業

○利用状況

- ・利用登録者数 130人 (前年比 ±0人)

(延人数)

区 分	内 訳
講座事業	15講座 359回 3,219人

○年間行事等

- ・野外療育訓練の開催 2回
- ・地域活動支援センターとの交流会の開催 2回
- ・宇都宮ふれあい文化祭・宇都宮市民福祉の祭典・カルフルとちぎへの参加
- ・作品展の出展（市民プラザ・市役所ロビー・中央生涯学習センター）
- ・出前講座（パンフラワー短期講座）の開催 2回

(イ)地域活動支援センター事業

○利用状況

- ・利用登録者数 11人 (前年比 +1人)

○年間行事等

- ・野外療育訓練の開催 1回
- ・講座事業との交流会の開催 2回
- ・宇都宮市民福祉の祭典への参加
- ・音楽療法・自走訓練・買い物訓練・レクリエーション等の実施

(ウ)医療生活相談

○相談状況

- ・開催回数 4回 (前年比 -5回)
- ・利用者数 4人 (前年比 -6人)

③総合福祉センターの管理・経営（2施設）

宇都宮市総合福祉センター（指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）

河内総合福祉センター（指定管理期間 平成23年4月1日～平成26年3月31日）

ア. 宇都宮市総合福祉センター

(総運営費 71,652,000円)

○利用状況

- ・開館日数 344日 (前年比 +2日)

(延人数)

区 分	内 訳	
会議室等利用者	91,136人	(前年比 -11,141人)
	4,804団体	(前年比 -632団体)
電子健康機器利用者	9,297人	(前年比 +201人)

イ. 河内総合福祉センター

(総運営費 41,304,000円)

○利用状況

- ・開館日数 296日 (前年比 -1日)

(延人数)

区 分	内 訳	
会議室等利用者	11,539人	(前年比 +55人)
	547団体	(前年比 +3団体)
大広間等利用者	15,189人	(前年比 -12,958人)
浴室利用者	60歳以上	9,967人
	60歳未満	240人
	障がい者	29人
	子ども	32人
電子健康機器利用者	5,720人	(前年比 -4,832人)
送迎バス利用者	1,480人	(前年比 -1,295人)

※1 会議室等利用状況は、団体室・ボランティア室・朗読室含

※2 平成23年度は東日本大震災の影響により、4月1日より9月26日まで3階大広間及び浴室は、利用中止

④茂原健康交流センターの管理・経営（1施設）

（指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日）

（総運営費 120,845,623円）

○利用状況

- ・開館日数 278日 (前年比 +12日)
- ・利用者数 延 160,979人 一日平均579人 (前年比 +9,224人)

(延人数)

区 分		内 訳
有 料	一般	41,460人
	高齢者	70,556人
	子ども	8,882人
減 免	障がい者	22,032人
	介護者	9,553人
無 料	3歳未満	571人
	中学生以下	7,925人

※1 平成23年度は東日本大震災の影響により、4月1日より4月8日まで臨時休館

※2 毎週土曜日は中学生以下無料

※3 上記人数には、オープン記念10周年祭・敬老の日の無料開放の人数は含まず。

※4 東日本大震災による避難所生活者への入浴無料サービス利用者数は含まず。

○その他

- ・高齢者健康づくり講座の開催
(水中運動教室 24回 570人参加 ・ 体操教室 24回 410人参加)
- ・高齢者等生きがいづくり事業の開催 (サークル発表場の提供 12回)
- ・健康づくり教室の開催 (体操教室 23回 404人参加)
- ・母の日「似顔絵展」 参加者 25名
- ・父の日「似顔絵展」 参加者 21名
- ・感謝イベント等の開催

イベント名	期 日	内 容	人数
こどもの日無料開放	平成23年5月5日(木)	中学生以下無料	112人
オープン記念10周年祭無料開放	平成23年8月11日(木)	全員無料	931人
敬老の日無料開放	平成23年9月19日(月)	75歳以上無料	97人
クリスマスイベント	平成23年12月25日(日)	抽選くじによるお菓子プレゼント	67人
グラウンド・ゴルフ	平成24年3月16日(金)	健康増進及び地域交流	51人

(2) 市からの受託事業の実施

①障がい者生活支援センター事業の実施

宇都宮市障がい者生活支援センター（総合福祉センター）（平成14年10月1日受託）

宇都宮市障がい者生活支援センター（子ども発達センター）（平成19年4月1日受託）

障がい者やその家族の地域における生活を支援することにより、在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図るため、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援等の相談支援及び、情報の提供を行った。

（総事業費 18,589,245 円）

- ・相談支援を利用している障がい者（児）の数 延 1,403人（前年比 +573人）
- ・相談件数 延 3,436件（前年比 +475件）
- ・個別支援会議 30回開催（前年比 +2回）

②地域包括支援センター事業の実施

地域包括支援センター御本丸（平成18年4月1日受託）

（総事業費 27,656,566 円）

○担当地区 中央地区・築瀬地区・城東地区

○総合相談支援事業

- ・相談者数 延 512人（前年比 +3人）

○高齢者等見守りネットワークシステム活動内容

	地域会議	見守り活動会議	安否状況確認
中央地区	1回	5回	2回
築瀬地区	0回	0回	該当者なし
城東地区	1回	3回	53回

※ 安否確認は、地域での見守りを希望していない方を対象に実施。

○介護予防ケアマネジメント業務

- ・特定高齢者介護予防プラン作成件数 延 58件（前年比 +31件）

○介護予防支援事業

- ・介護予防サービス・支援プラン作成件数 延 1,362件（前年比 +72件）
（うち、居宅介護支援事業者委託 487件）

○認知症サポーター養成講座

- ・8回開催（平成23年5月31日 他）受講者数 延202名（前年比 +42人）

上河内地域包括支援センター(平成19年4月1日受託)

(総事業費 21,713,501円)

○担当地区 上河内地区

○総合相談支援事業

・相談者数 216人 (前年比 -12人)

○高齢者等見守りネットワークシステム活動内容

	地域会議	見守り活動会議	安否状況確認
上河内地区	2回	6回	該当者なし

○介護予防ケアマネジメント業務

・特定高齢者介護予防プラン作成件数 延 124件 (前年比 +30件)

○介護予防支援事業

・介護予防サービス・支援プラン作成件数 延 524件 (前年比 +23件)
(うち、居宅介護支援事業者委託 200件)

○認知症サポーター養成講座

・3回開催(平成23年11月2日 他) 受講者数 39人 (前年比 +16人)

③日中一時支援事業の実施

あっとほーむ・すずめ(放課後型 平成16年4月1日受託)

あっとほーむ・かわち(日中支援型 平成19年4月1日受託)

(放課後型 平成22年5月24日受託)

あっとほーむ・うだい(放課後型 平成19年7月12日受託)

(総事業費 21,409,710円)

○施設別内容

施設名	区分	開所日数	登録者数	利用者延人数
あっとほーむ・すずめ	放課後型	244日	10人	990人
あっとほーむ・かわち	放課後型	244日	15人	1,316人
	日中支援型	244日	23人	972人
あっとほーむ・うだい	放課後型	234日	18人	1,997人
合計			66人	5,275人

(前年比 +191人)

④訪問介護員養成研修事業の実施

(総事業費 2,113,149 円)

- ・期 間 平成23年10月3日(月)～平成24年2月29日(水)
- ・会 場 宇都宮市総合福祉センター・宇都宮短期大学・老人福祉施設等
- ・修了者 39人 (前年比 +2人)

⑤身体障がい者福祉バス事業の実施 (昭和54年5月1日受託)

障がい者の社会参加を促進するため、福祉バスの運行を行った。

(総事業費 8,948,457 円)

○利用状況

- ・稼働日数 173日 (前年比 -19日)
- ・利用団体数 延 173団体 (前年比 -19団体)
- ・利用人数 延 4,066人 (前年比 -98人)

⑥ゆうあいひろばの管理運営 (平成19年7月31日受託)

(総運営費 20,023,000 円)

○利用状況

- ・開館日数 363日 (前年比 +10日)
- ・利用者数 延 78,403人 (前年比 +3,150人)

○利用人数内訳

	人 数
幼 児	35,643人
小学生・中学生	11,206人
大 人	31,554人
合 計	78,403人

○事業開催状況

- | | | (延人数) |
|-------------------------|------|--------|
| ・工作教室の開催(七夕工作、プラバン工作等) | 149回 | 2,185人 |
| ・児童・青少年健全育成事業(よみきかせ等) | 43回 | 1,308人 |
| ・ボランティア活用事業(おもちゃクリニック) | 8回 | 195人 |
| ・季節行事の開催(クリスマス会、節分豆まき等) | 5回 | 1,284人 |
| ・子育て支援事業(子育てワイワイ) | 11回 | 386人 |

⑦各種奉仕員養成講座の実施

(総事業費 1,219,838 円)

種 別		内 容	開催日	開催回数	受講人数(延)	前年比	
手話奉仕員養成講座	入 門	手話の基礎知識と実技	平成 23 年 5 月～9 月の毎水曜日	全 18 回	319 人	-21 人	
	基 礎	手話の応用知識と実技	平成 23 年 9 月～平成 24 年 3 月の毎水曜日	全 23 回	353 人	+28 人	
点訳奉仕員養成講座	入 門	点訳の基礎知識と実技	平成 23 年 5 月～10 月の毎月曜日	全 20 回	300 人	+16 人	
	中 級	点訳の応用知識と実技	平成 23 年 10 月～平成 24 年 3 月の毎月曜日	全 20 回	294 人	+27 人	
音訳奉仕員養成講座	初 級	音訳の基礎知識と実技	平成 23 年 5 月～8 月の毎水曜日	全 15 回	182 人	-82 人	
	中 級	音訳の応用知識と実技	平成 23 年 9 月～平成 24 年 2 月の毎水曜日	全 20 回	242 人	-86 人	
要約筆記奉仕員養成講座	手書き	基本	要約筆記の基礎知識と実技	平成 23 年 5 月～9 月の毎木曜日	全 16 回	32 人	+16 人
		応用	要約筆記の応用知識と実技	平成 23 年 9 月～11 月の毎木曜日	全 10 回	20 人	+10 人
	パソコン	基本	パソコン要約筆記の基礎と実技	平成 23 年 5 月～9 月の毎木曜日	全 16 回	64 人	+17 人
		応用	要約筆記の応用知識と実技	平成 23 年 9 月～11 月の毎木曜日	全 10 回	39 人	+20 人

⑧要約筆記者派遣事業の実施

聴覚障がい者等を対象に、日常生活を営むうえでコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣することにより社会参加を円滑にし、障がい者福祉の増進を図った。

- ・派遣依頼数 74件 (前年比 -34件)
- ・活動筆記者数 74人 (前年比 -49人)

(3) 県社協からの受託事業の実施

①権利擁護センター「あすてらす」事業の実施

(平成11年10月1日受託)

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者などの方々に対し、安心して地域等で暮らせるよう相談に応じるとともに、金銭管理及び財産保全等のサービスを提供した。

(総事業費 9,729,300円)

- ・担当地区 宇都宮市・上三川町
- ・契約者数 107人 (前年比 +6人)
- ・一般相談 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後4時
- ・専門相談 偶数月第2火曜日 午前10時～正午 (弁護士による相談)
- ・相談件数 延 3,096件 (前年比 -18人)

・相談者内訳

区 分	相 談 件 数
認知症高齢者	1,546件
知的障がい者	523件
精神障がい者	634件
身体障がい者	345件
その他	48件
合 計	3,096件

②生活福祉資金等貸付事業の実施

低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立や生活意欲の向上を支援し、その世帯の安定した生活を確保するために実施した。

資 金 種 別		件 数
生活福祉資金	福祉資金	61件
	総合支援資金	102件
	教育支援資金	21件
	緊急小口資金〔災害特例〕	19件
臨時特例つなぎ資金		24件
合 計		227件

(前年比 -71件)

- ・相談件数 延 2,541件